

『森が夢を見るとき』

～一つの緑のファンタジー～

夜になると、
森は何を夢見るのだろう

彼らは空にある星を
想像するのだろうか？

それとも、枝の下にいる奇妙な生物の夢を
見るのだろうか？

おそらく、自分の枝に実る種子に
ついて空想しているのでしょう

あるいは、自分の祖先が夢見たことを
夢想しているのかもしれない

あるいはチェーンソーとブルドーザーの悪夢を
見ているのかもしれない

それらが彼らの存在全体をゴミや木材、
または炭に変えてしまうことを

そして機械を操作する人々に対して、
哀れみを感じるのかもしれない

もし森の声を注意深く聞いたら、
人間の行いは違ってくるかもしれません

- T Newfields (訳: 吉田典子)

開始: 1996年 静岡市 完成: 2024年 横浜市